



第15号  
発行 JA新潟厚生連  
新潟医療センター  
発行責任者 田中憲一

# 脳神経センター開設

当院では、前新潟大学脳研究所長・神経内科教授の西澤正豊先生をセンター長に迎え、平成二十八年四月から「脳神経センター」を開設いたしました。当センターのご紹介を兼ね、西澤センター長にお話を伺いました。



脳神経センター長  
西澤 正豊

当院では平成二十八年四月より、脳神経内科と脳神経外科が合同して脳神経センターを構成し、内科五名、外科二名の合計七名のいずれも専門医が協力して、脳神経疾患の診療にあたっています。対象となる脳・神経系の疾患は非常に多岐に渡りますが、急性の疾患では脳卒中が最も多くを占めています。新潟県は依然、全国的にみて男女ともに脳卒中が多いために、急性期治療の体制を整え

るとともに、予防対策を進める必要があります。当センターでは常時、脳卒中の患者さんを受け入れて、急性期から慢性期のリハビリテーションまで、切れ目なく対応することにより、在宅復帰をサポートしています。

慢性に経過する疾患では、社会の超高齢化が進むわが国では、認知症が急速に増加しており、この対策が待ったなしの課題です。高血圧や糖尿病などの生活習慣病の危険因子は、脳卒中ばかりでなく、認知症の危険因子でもあることがわかってきました。そこで、これらの危険因子を適切に管理するとともに、運動を続けることにより、脳卒中ばかりでなく、認知症も予防することができると考えられるようになってきました。当センターでは、認知症や脳卒中の専門外来を開設し、専門的な診療にあたるとともに、院内外のリハビリテーション療法士、保健師、



内科の3診・4診・5診を脳神経センターとして独立

医療ソーシャルワーカーなど多職種専門職と連携して、これらの発症予防を目指した活動にも取り組んで参ります。

脳・神経系の疾患では、頭痛、めまい、けいれん、しびれなどの症状がよくみられます。こうした神経症状が生じた場合には、当センターにご相談下さい。また、パーキンソン病や脊髄小脳変性症などの神経変性疾患に対しても、専門的な診断と治療にあたっています。ご希望に応じて、神経難病患者さんの在宅医療のサポートも実施しています。

脳神経センター長

西澤 正豊



常時二名医師体制となりました。

新潟医療センター設立六年が経過し、旧こばり病院から引継がれた当センターは各健保組合様等との契約を増やしつつ現在に至っています。申込み受付の際に毎日、正面玄関からお入りになりましたら最寄りのエレベーターにて六階までお越しくださいの爽やかな美声が聴けるよう健診センター長はじめ課員一同邁進しています。よって、県内では無二の最上階にある健診センターの特性をどの様に生かすかが命題であります。病院特有の喧騒からは解放されているものの景観やリラクゼーション効果などは希薄です。では、三万六千円の商品に対し売りは何か？得られる結果に安心感があり、速やかに適切な対応が施される体制にあること。いざという時の担保が確りとしていること。精度管理を支える顔ぶれが確りとしていること。秀男先生が常勤医として赴任されたことでその価値が高まっていると確信しています。医師二名・健診部五名・事務部八名が一体となり、検査では消化器病センター・外科・産婦人科、検査科・放射線科等の支えを頂いて当センターが成り立っています。お陰様で平成二十七年決算においては二億円を超えることが出来ました。長岡、

上越に次いで収益も伸ばしているところでありました。平成二十八年三月に新規オープンした新潟健診プラザではドックの受入れが一日百三十人と当センターキャパシティの約七倍強と競争が増えていく中で、今後の課題は何かを考えさせられています。笑顔、親切で優しい対応は日々の基本であり、個人情報の徹底管理と最良の精度管理に裏付けされた安全安心のブラッシュアップに心がけています。更に商品に魅力を持たせること、すなわち優れたオプシオンの検討（Ox-Jobx 脳梗塞・心筋梗塞発症リスク関係など）と人気の脳ドック需要の検討が急務であります。今後とも健診センターに支援宜しくお願い致します。

健診センター事務部長

三條 成己



健診センター

(裏面もご覧ください)





**検査科**  
**本間 信治**

大学院在職中、前半 20 年は神経系の、後半 20 年は消化管の講義、電気生理、生化学的研究に従事してきました。検査部勤務は適任でみなさんのお役に立てればと思います。



**副健診センター長**  
**小島 秀男**

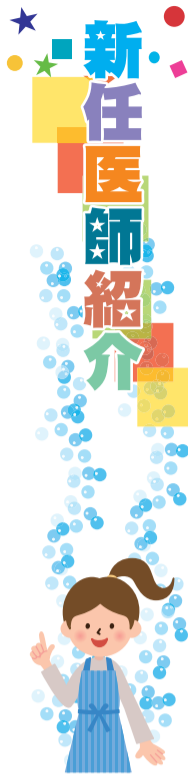
4 月より栃尾郷診療所から当院に転勤し、健診センターの業務を担当することとなりました。これまで 7 年間医療僻地で高齢者ばかり診てきましたが、今後は対象年齢がずっと若返り私自身も若返った気分です。各科の先生方にはいろいろお願いすることもあろうかと思いますが、よろしくお願い致します。



**脳神経センター長**  
**西澤 正豊**

本年 3 月、新潟大学脳研究所神経内科を定年退職し、4 月より脳神経センター長を拜命しております。特に認知症の先制医療に取り組む所存ですので、何卒宜しくお願い致します。

この春も当院に六人の医師が赴任致しました。ご紹介に際し、一言抱負を伺いました。



**整形外科**  
**勝見 亮太**

関節・スポーツの分野で皆さんのお役に立てるよう尽力していきたいと思ひます。よろしくお願ひします



**循環器内科**  
**井神 康宏**

地域の皆様の健康な生活に貢献できるように頑張ります。若さを取り得てに精一杯やらせて頂きますので、よろしくお願ひいたします。



**神経内科**  
**鳥谷部真史**

脳はすべての臓器と密接に関わっているだけでなく、社会生活を営むために非常に重要な役割を果たしています。患者さんが人間らしい生活を送ることができるように診察していきたいと思ひます。



このたびは当院B棟のリニューアル工事を行いました。入院中の患者様には、リニューアル工事の間ご協力をいただき誠にありがとうございました。新しくなった病室は、清潔感のある白と木目の温かみのある雰囲気になり、患者様より「明るくて良い」「綺麗になった」とのお褒めの言葉をいただいております。またトイレもリニューアルをし、より清潔感が増したと好評を得ています。何よりも患者様に喜んで頂くのが一番です。これから建物だけでなく、職員一同も気分を新たに患者様に安心して入院生活が過ごせるように医療・看護などを提供したいと思っております。

# 病院探索

B棟の病室をリニューアルしました



梅雨明けが待ち遠しい時期になりました。晴れた日には、屋外での運動や散歩などとても気持ち良いですね。これから気温も上がってきます、熱中症などに注意して体調管理には十分気を付けて暑い夏に備えましょう。

薬剤部 西大法

# 編集後記